

大阪城公園 校外実習

プロの視点を手に入れ、世界の「見え方」を変える事前学習

ハイテク農芸科 草花造園専攻 2年生、3年生

01. ミッションの定義

ただの見学を、プロへの「挑戦」に変える

見方を変える“風景を「見る側」から「つくる側」へ”

日常の景色を疑う

いつもの風景には、誰かの「意図」が隠されています。

🔍 駅前の植え込み：なぜその高さなの？（飛び出し防止？）

🔍 街路樹：なぜそこにベンチがある？（木陰を作るため？）

実習までに「なぜ、そこに木があるのか」自分なりの予想を立ててみましょう。



3つの「レンズ」で観察する



おもてなし

観光客が思わず立ち止まる「美しさ」と「仕掛け」を探すレンズ。



守り人

台風や猛暑、そして数千万人の安全を守る「強さ」を見るレンズ。



時間旅行

江戸の石垣と令和の緑、100年後の未来を繋ぐレンズ。

学生とプロ、何が違うのか？

比較項目	学校の実習（自分たち）	大阪城公園の管理（プロ）
目的	教科書通りの形に整える	歴史・安全・観光の最適化
スピード	時間をかけて丁寧に仕上げる	限られた工期内で100点の効果
道具	手バサミ、ノコギリ中心	高所作業車、特殊電動工具
管理対象	数本～数十本の樹木	数千本規模の広域管理

マイ・ミッション・シート

- ✔ 問いを立てる：「なぜこの木はこう切られているのか？」自分の問いを持つ。
- ✔ こだわりを盗む：一般の人が気づかない「プロのこだわり」を1つ見つける。
- ✔ 言葉を拾う：職人さんとの会話から、一番心に残ったフレーズをメモする。
- ✔ 世界を広げる：実習後、自分の生活でどう考えが変わったか振り返る。

当日の振り返り課題

- 【問いと解】プロの知恵から学んだこと
- 【内省】学校の実習との「ギャップ」
- 【変容】明日からの「新しい視点」
- 【プロへのメッセージ】